



7月・8月は本格的な駅伝・各種ロードレースシーズンに向けて、基礎体力の強化を目的に走り込み合宿を実施しました。今夏は例年にも増して厳しい暑さが続きましたが、スピードと持久力の向上に各選手が積極的に取り組みました。

9月22日(日・祝)に開催された第72回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会では、1500mに出場した漆畑瑠人選手が合宿の疲労が残る中でしたが粘り強く走り、3分44秒03のタイムで7位入賞を果たしました。

また、9月29日(土)に開催された第3回中国実業団長距離記録会で、入社2年目の笠原大輔選手が、9月30日(日)の第316回日本体育大学長距離競技会では合田棕選手がそれぞれ5000m

で自己ベストを更新しました。合田選手がマークした13分40秒18は、安川電機陸上部歴代3位の好記録であり、チームに勢いをもたらしました。

今後は11月3日(日・祝)に開催される「第61回九州実業団毎日駅伝競走大会」で、まずは予選を通過(上位9チーム)し、本戦の「ニューイヤー駅伝2024」ではキャプテンの大畑和真選手を中心に、今後更にチーム結束力を高めて目標達成に注力いたします。ひと夏の合宿を乗り越え成長した入社1年目の九嶋恵舜選手、辻文哉選手ら若手選手の活躍や、チームのエース古賀淳紫選手の走りに是非ご期待ください!

引き続き応援のほどよろしくお願い致します。

基礎体力強化のため、夏合宿で走り込む選手たち



秋のレースで自己ベストを更新した笠原大輔選手



### 選手コメント

#### 笠原 大輔

上半期は自己ベストを更新できず、悔しい夏を迎えました。今の自分に足りないものはなにかと考えたときに「基礎」が十分ではないと気づき、夏合宿期間中は基礎作りにフォーカスを当てました。その結果、少しずつ調子を上げることができ、下期初戦のレースでは5000mの自己記録を更新(14分13秒16)することができました。今後は駅伝に向けて更に調子を上げ、安定した走りができるよう努力します。応援よろしくお願ひします。

